

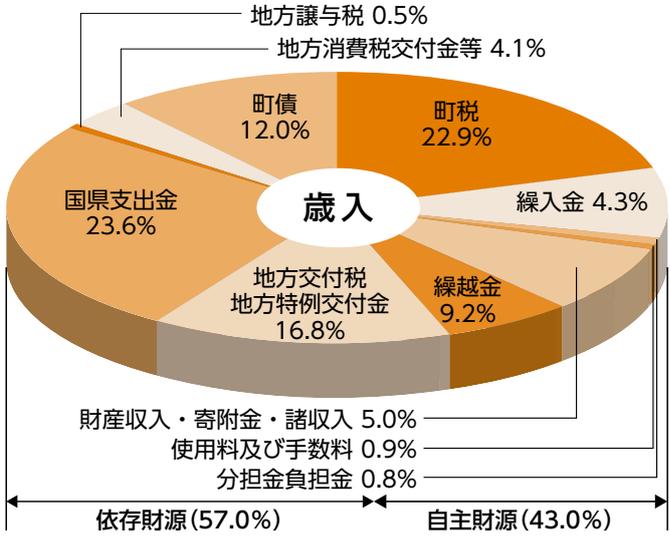
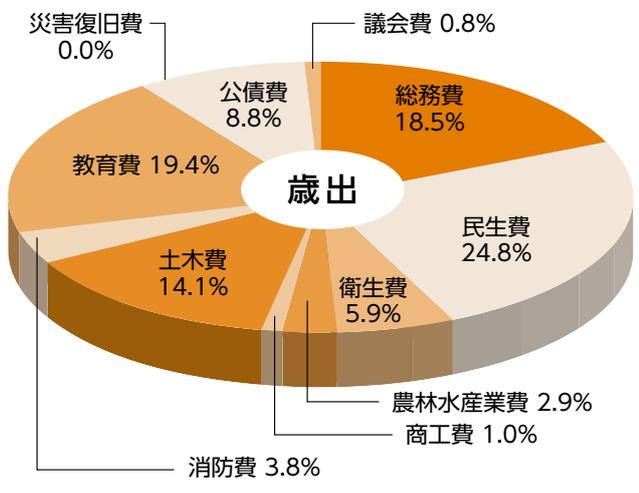
歳出総額

73億7170万2千円

歳入総額

76億4823万円

嘉島町令和4（2022）年度 一般会計決算



歳出決算額	議会費	6341万3千円
	総務費	13億6362万1千円
	民生費	18億2486万7千円
	衛生費	4億3755万7千円
	農林水産業費	2億1054万3千円
	商工費	7062万9千円
	土木費	10億3731万0千円
	消防費	2億8271万5千円
	教育費	14億3348万7千円
	災害復旧費	-
	公債費	6億4756万0千円
	73億7170万2千円	

町税	17億5224万6千円
繰入金	3億2524万9千円
分担金負担金	5779万2千円
使用料及び手数料	6501万8千円
財産収入	768万0千円
繰越金	7億0318万4千円
諸収入	9117万3千円
寄附金	2億8578万2千円
地方交付税	12億5509万9千円
地方特例交付金	2663万1千円
国県支出金	18億0555万0千円
地方譲与税	4184万3千円
利子割・配当割交付金	518万1千円
法人事業税交付金	2762万1千円
株式譲渡所得割交付金	341万4千円
地方消費税交付金	2億7483万2千円
環境性能割交付金	358万9千円
交通安全特別対策交付金	188万5千円
町債	9億1446万1千円

特別会計決算	国民健康保険	歳入	10億2513万0千円
		歳出	9億9635万5千円
	住宅新築資金等	歳入	59万0千円
		歳出	5万0千円
	介護保険	歳入	9億2492万2千円
		歳出	8億6563万6千円
公共下水道事業	歳入	7億7073万5千円	
	歳出	7億4352万6千円	
後期高齢者医療	歳入	1億5378万1千円	
	歳出	1億4875万6千円	
公営企業会計決算	簡易水道事業会計	収益的収入	6,672万8千円
		収益的支出	4,771万8千円
		資本的収入	5,228万5千円
		資本的支出	6,429万0千円

歳入決算額 76億4823万円

- 町立小中学校トイレ改修事業 1億8981万4千円
- 町役場庁舎改良事業 2億278万7千円
- 児童手当扶助 2億960万円
- 道路橋梁新設改良事業 4億2332万3千円
- 施設型給付費扶助 6億1272万4千円
- 公債費（元利償還金） 6億4756万円
- 町学校給食センター建設事業 6億8803万7千円

**令和4年度
主な使われ方**

歳入
8.7% 減

町税収入は2.5%増

歳出
4.0% 減

教育費 大幅な伸び

嘉島町の令和4（2022）年度一般会計と、国民健康保険をはじめ五つの特別会計、一つの企業会計の決算が、9月定例町議会ですぐれも原案通り認定されました。一般会計は歳入、歳出とも80億円を割り込む減額決算となりました。

歳入

令和4年度一般会計の歳入総額は76億4823万円で、前年度を7億3320万8千円下回り、8・7%減でした。歳入の柱の町税は17億5224万6千円で、前年度比2・5%の増。企業誘致や人口増が功を奏し、固定資産税などが増えました。町全体に占める構成比は22・9%で前年度を2・5%上回りました。地方交付税は、普通・特別交付税の増により5・5%の増。国県支出金は社会資本整備総合交付金（国庫補助金）、農林水産業費県補助金の減少等により16・1%減。町債は給食センター建設などで教育債が増加する一方、土木債が減り前年度並みでした。自主財源の構成比は43・0

歳出

歳出は73億7170万2千円で、前年度を3億655万2千円下回り、4・0%の減となりました。費目別では、住民の安定した社会生活を保障するための民生費が18億2486万7千円で最多。全体の24・8%を占めました。構成比は前年度比1・8%減です。教育費は前年度を4億5731万3千円上回る14億3348万7千円。学校給食センター建設などに取り組んだため全体の19・4%を占め、構成比は前年度を6・7%上回りました。土木費の比率は14・1%で構成比では4・9%減りました。経費を性質別に分類します

%で、前年度比で1・5%ダウンしました。

健全財政を徹底

町一般会計の令和4年度決算では、地方自治体に関する財政健全化法で公表が義務付けられた実質公債費比率をはじめ、健全化判断の4指標はどれも基準内に収まっています。町税や地方交付税などの経常的収入に対する経常的に必要な費用（人件費や扶助費、公債費など）の割合「経常収支比率」は、前年度と同じ84.7%でした。町村では75%を超えると財政構造が弾力性を失いつつあるとされます。90%台で推移した平成30年度～令和2年度に比べ改善しましたが、さらなる改善が必要です。一方、年間の借金返済額の割合である実質公債費比率は前年度の9.4%から10.1%に上昇しました。この比率は10%を超えないことが望ましいとされます。今後も健全財政の徹底に努めてまいります。

（財政係）

特別会計

令和4年度の特別5会計決算は歳入総額28億7515万8千円で対前年度比1・1%増加、歳出総額は27億5432万3千円で、1・5%増でした。

公営企業会計

簡易水道事業は令和3年度に公営企業会計に移行。水道料金などの収益的収入は施設の維持管理に伴う収益的支出を上回りました。一方、施設建設の財源となる資本的収入に対し、建設費や償還金などの資本的支出が約1200万円上回り、旧簡易水道事業特別会計からの引継金で補てんしました。

と、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は前年度比5・2%減りました。一方、投資的経費は学校施設改修事業等の増加により、前年度と比較して11・8%増えました。